



次世代花粉交配 ふたつのハナアブ



クイーン FLY[®] フライ

発売期間：10月頃～6月頃

ゴールド FLY[®] フライ

発売期間：4月頃～6月頃

- スペインのPOLYFLY社が生産する花粉交配用ハナアブ
- クイーンフライはナミハナアブ (*Eristalis tenax*)、ゴールドフライはドウガネホシメハナアブ (*Eristalinus aeneus*)を利用した全く新しい2種類の花粉交配サービス(共に在来種)
- サナギ～成虫の状態でお届け
- ミツバチやビーフライ、マルハナバチと併用可能

ハナアブとは

双翅目の代表種であり国内だけでも約450種存在し自然界の約30%の受粉を担っています。その訪花能力の高さを農業資材として活用するために開発されたのがクイーンフライとゴールドフライです。ミツバチ不足を補う資材として期待が高まっています。

商品特性





- 様々な作物に使用可能
イチゴ・スイカ・メロン・マンゴー・アボカド・タマネギ・ニンジン・ブルーベリーなど。
- 活動温度帯が広く 雨天曇天でも活躍
クイーンフライは低温に強く、ゴールドフライは高温に強い特性を持ち、飛行するにあたり紫外線を必要としないため悪天候でも訪花活動を行います。
- 訪花能力が高い
運動量が多く活発に活動し頻りに訪花 体毛が多く花粉を多くつけ飛び回ります。
- 刺さない
ハナアブは刺したり噛んだり致しません。
- 安定生産 安定供給
工場生産のため気候変動などの影響を受けにくく安定供給が可能です。

商品内容	活動温度帯	温度幅	紫外線	使用期間
クイーンフライ	10℃～30℃	21℃	不要	2～4週間
ゴールドフライ	16℃～36℃	21℃	不要	2～4週間
ミツバチ	18℃～25℃	8℃	必要	1～6ヶ月
マルハナバチ	15℃～28℃	14℃	必要	6～7週間
ビーフライ	10℃～35℃	26℃	不要	2～3週間

クイーンフライ

ゴールドフライ

商品規格

内容量(箱サイズ)		内容量(箱サイズ)	
S	M	S	M
(縦6cm×横6cm×高12cm)	(縦10cm×横14cm×高10cm)	(縦6cm×横6cm×高12cm)	(縦10cm×横14cm×高10cm)
100匹/箱	500匹/箱	200匹/箱	1000匹/箱
			

作物別使用量目安(10アールあたり)

単位:箱

条件	ハナアブのみで 使用の場合		ミツバチと 併用の場合	
	S	M	S	M
イチゴ・スイカ・メロン	8~10	2	2~6	1
マンゴー	20	4	10	2

クイーンフライと
ゴールドフライは
使用箱数が同じです。

導入・使用方法

ご使用方法

・商品は、サナギの状態でお届けします。サナギを羽化させることで成虫が受粉を行います。
(※時期や輸送状況によってお届け時点で羽化している場合もございます。)

開放

・ご使用の際は、箱の前後2箇所にある出口(切り取り線の部分)を押し開けてください。
※導入の際は逃避防止のためネット(クイーンフライは4mm以下、ゴールドフライは3mm以下)を展張してご利用ください。

羽化方法

・羽化に最適な温度は23℃前後です。その環境下であれば2~3日で羽化します。
※Bフライヤー(ビーフライ専用ヒーター)の応用も可能。
・ハウス内に導入する際は、風通しがよく、直射日光の当たらないところに設置をお願いいたします。
・箱を地面に直接設置すると徘徊性のクモやアリにより食害される恐れがあります。
・箱を吊り下げる場合は、20cm程度の高さに設置してください。それより高い位置に設置すると羽化したハナアブが落下してダメージを受ける恐れがあります。
・厳寒期は出口を開けた状態で虫かごなどに入れ23℃前後の温度が確保できる室内で管理し、羽化が始まったらハウスに導入してください。(導入の際は虫かごから出してください。)

給餌

・エサは基本的には必要ありませんが、花の少ない時期は砂糖などを与えて頂くとより活性がでます。

使用期間

・寿命は2~4週間程度です。長期使用の際は定期導入・連続放飼が必要になります。

農薬

・右記のQRから農薬影響表をご確認いただき、計画的な農薬散布をお願いいたします。



導入

使用